

気候変動にそなえ 植物研究者が できることとは？



場 所：名古屋大学東山キャンパス ES総合館 ESホール

参加者：学内・一般 形式：オンサイト（ハイブリッド）



お申込みは
こちらのQRコードから

2024

10/29^火

10:30～16:00

〈開会の挨拶〉 10:30—10:35	山中宏二 副総長
〈イントロダクション〉 10:35—10:45	高等研究院副院長 榊原 均 教授
10:45—11:20	「世界の穀物生産に対する気候変動影響と適応策」 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 飯泉 仁之直 上級研究員
11:20—11:55	「地球温暖化の影響・適応評価に向けた作物モデル開発」 国立研究開発法人国立環境研究所気候変動適応センター アジア太平洋気候変動適応研究室 増富 祐司 室長
(休憩12:00—13:15)	
13:15—13:50	「日々変動する窒素栄養環境を植物が生き抜くしくみ」 名古屋大学理学研究科 松林 嘉克 教授
13:50—14:25	「気孔開口のシグナル伝達の解明と気孔開度制御による作物生産量の促進」 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 木下 俊則 教授
14:25—15:00	「ストレス耐性の育種への応用」 名古屋大学生物機能開発利用研究センター 芦 莉 基行 教授
(休憩15:00—15:10)	
〈パネルディスカッション〉 15:10—15:50	「気候変動にそなえ植物研究者ができることとは？」 モデレーター：高等研究院副院長 榊原 均 教授
〈閉会の挨拶〉 15:55—16:00	高等研究院院長 阿波賀 邦夫 教授